



2020年3月期第3四半期 決算説明資料

**2020年2月20日
三菱ロジスネクスト株式会社**



2020年3月期第3四半期 決算概要

三菱ロジスネクスト株式会社

市場環境

- 世界経済は米中貿易摩擦、英国のBrexit、中東を中心とした地政学的脅威が現実味を帯びてくるなど、不安がさらに増大。
- 全世界的な製造業の停滞は収まりを見せず、システム投資以外への設備投資が大きく抑制されている。日本経済の各種指標は依然堅調さを示しているものの、製造業の停滞による投資抑制は顕著となっており、停滞の様相が明確。
- 以上の経済環境から、物流機器業界にとっては全世界的に強い向かい風の状況にあるといわざるを得ず、今後の市場動向への不安が増大している状況にある。

連結業績概要

- 売上高は米州のEQD社の新規連結が寄与し、前年比+1.3%の増収。
- 営業利益は米州・中国の売上減が響き、前年比▲23.6%の減益。
- 2019年7月1日にその全株式を取得したEquipment Depot, Inc.（以下、「EQD社」）については、決算日を12月31日から3月31日に変更したことに伴い、当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に2019年7月1日から2019年12月31日までの6ヶ月間の業績を連結。

2. 決算ハイライト

(単位：億円)

損益計算書	2018年12月期	2019年12月期	前年同期比増減	
売上高	3,302.4	3,346.3	+43.9	+1.3%
営業利益 (のれん等償却前) (営業利益率)	155.0 (4.7%)	140.5 (4.2%)	▲14.5	▲9.4%
のれん等償却	66.1	72.6	—	—
営業利益 (営業利益率)	88.8 (2.7%)	67.9 (2.0%)	▲20.9	▲23.6%
経常利益 (経常利益率)	94.2 (2.9%)	65.0 (1.9%)	▲29.2	▲31.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	50.5 (1.5%)	30.3 (0.9%)	▲20.2	▲39.9%

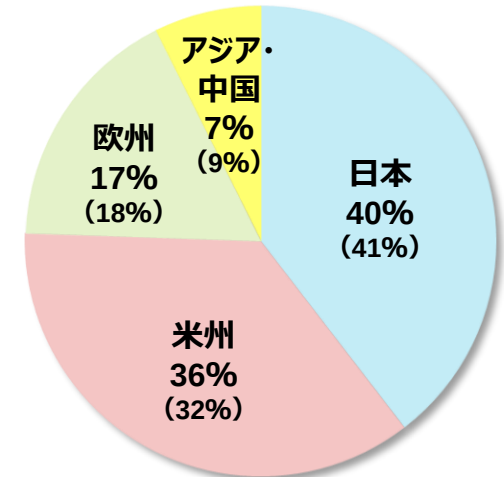
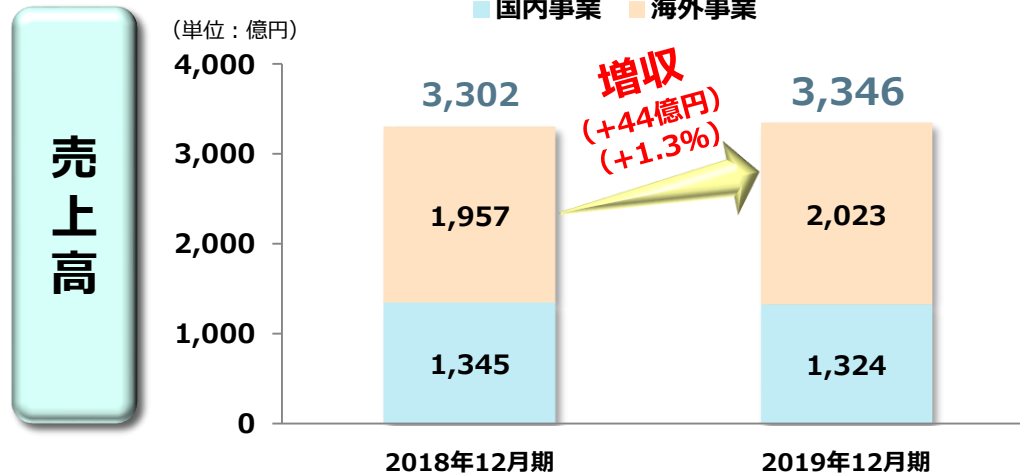
貸借対照表	2019年3月期	2019年12月期	前期比増減	
総資産	3,677	3,817	+140	+3.8%
総負債	2,992	3,133	+141	+4.7%
純資産	685	684	▲1	▲0.1%

2018年3Q実績レート：USD = 111.14円 EUR = 129.49円 CNY = 16.61円
 2019年3Q実績レート：USD = 108.67円 EUR = 121.05円 CNY = 15.60円

3. セグメント別業績

売上高：米州のEQD社の新規連結が寄与し、前年比+1.3%の増収

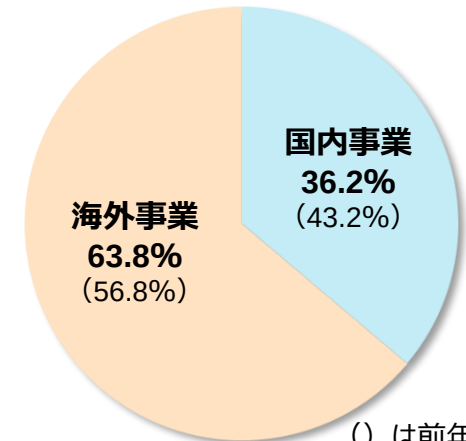
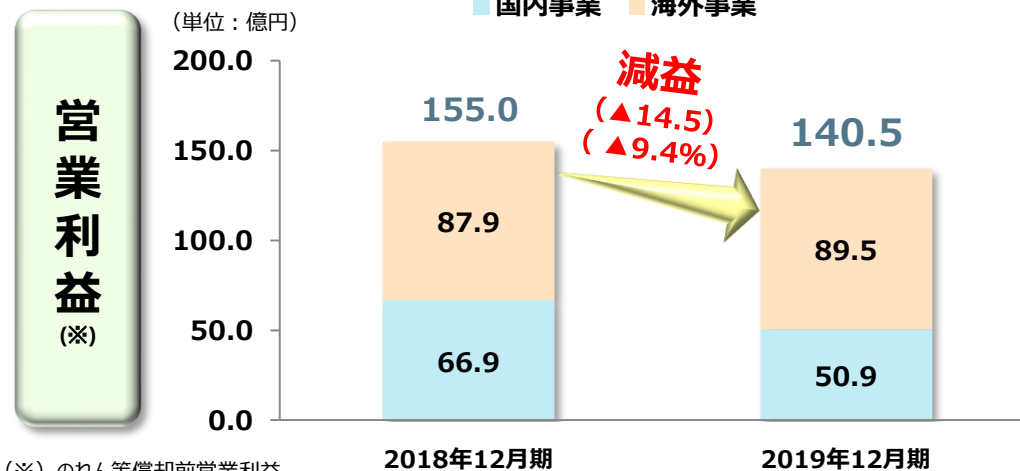
地域別内訳（2019年12月期）



() は前年実績

営業利益(※)：米州・中国の売上減が響き、前年比▲9.4%の減益（のれん償却後は▲23.6%の減益）

セグメント別内訳（2019年12月期）

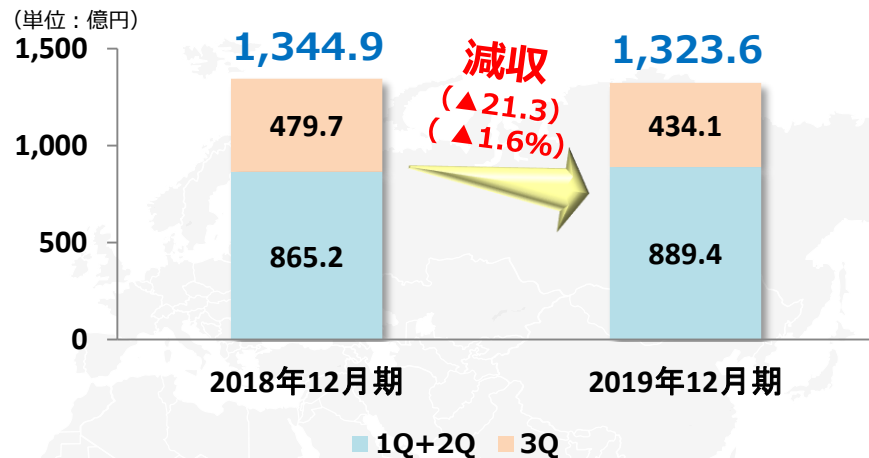


() は前年実績

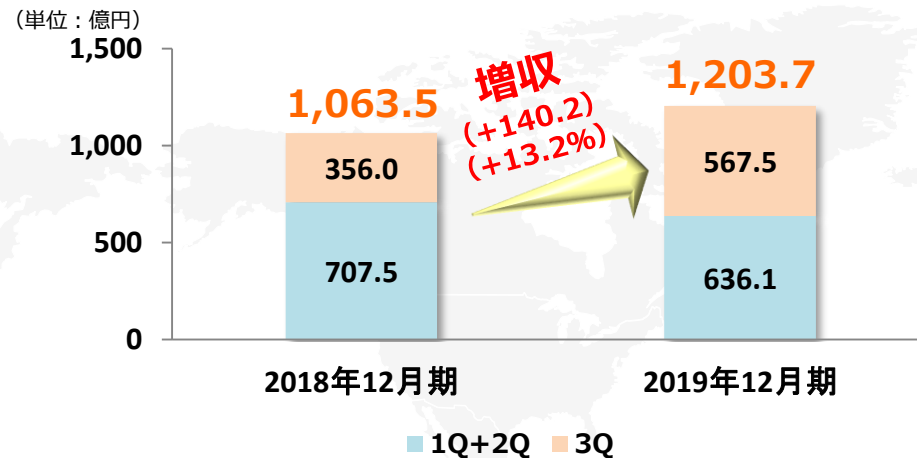
(※) のれん等償却前営業利益

4. 地域別売上高 (為替影響含む)

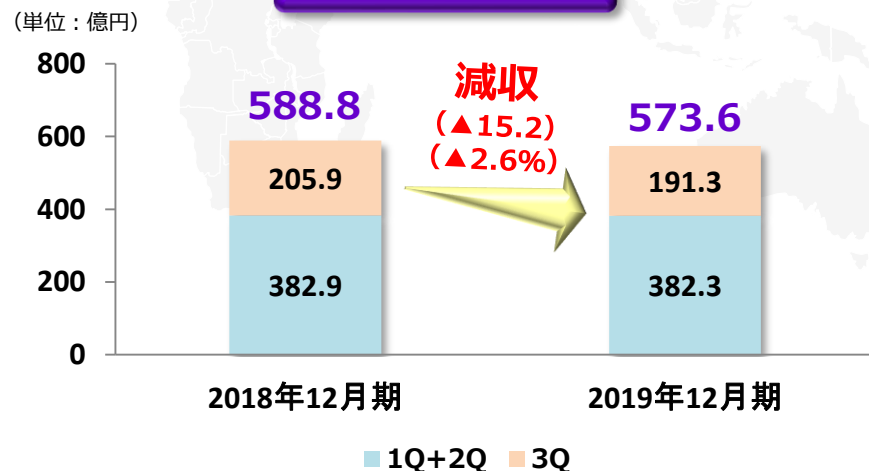
日本



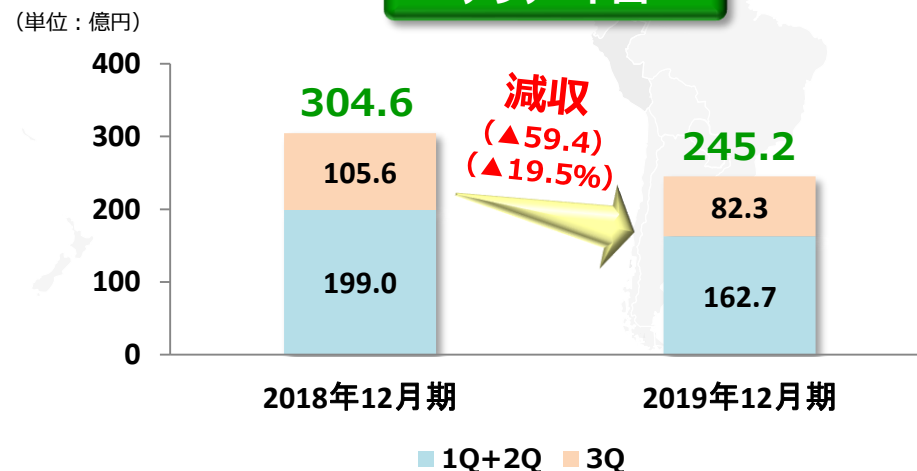
米州



欧州



アジア・中国

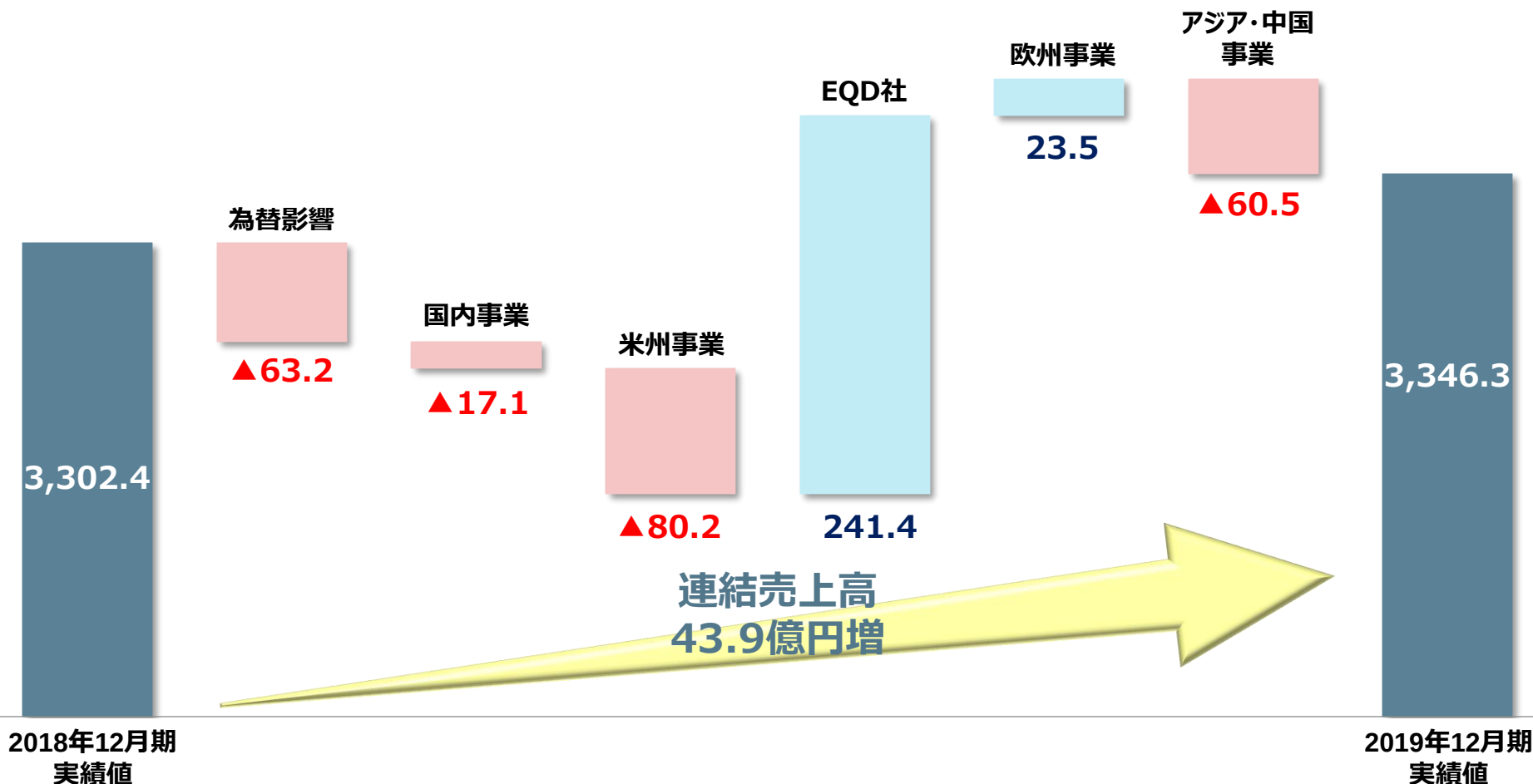


5. 連結売上高増減要因（前年同期実績対比）

米州のEQD社の新規連結が寄与し、前年比+1.3%の増収

※EQD社連結影響を控除すると米州、中国等の売上減により前年比▲6.0%の減収

（単位：億円）

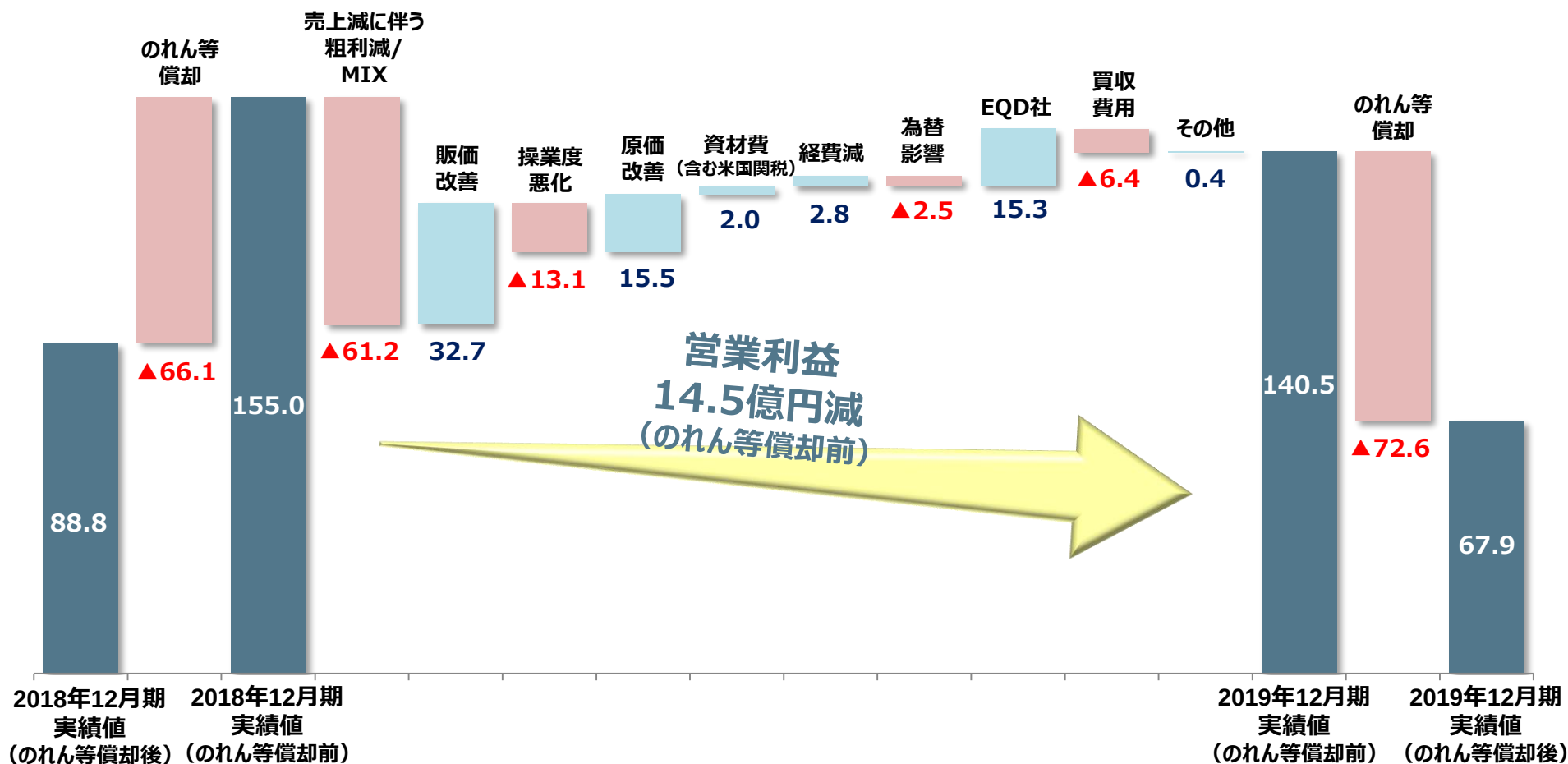


6. 連結営業利益増減要因（前年同期実績対比）

Logisnext

米州・中国を中心とした売上減・操業悪化の影響を販価改善、原価改善でカバー
前年比▲9.4%（のれん等償却前営業利益）／▲23.6%（のれん等償却後営業利益）

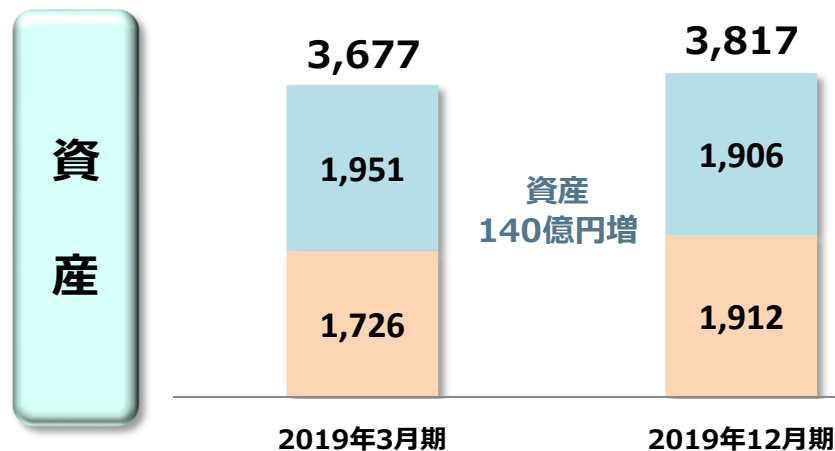
（単位：億円）



7. 連結貸借対照表

EQD社の新規連結及びEQD社買収に伴う借入金の増加により総資産・負債は増加

(単位：億円)



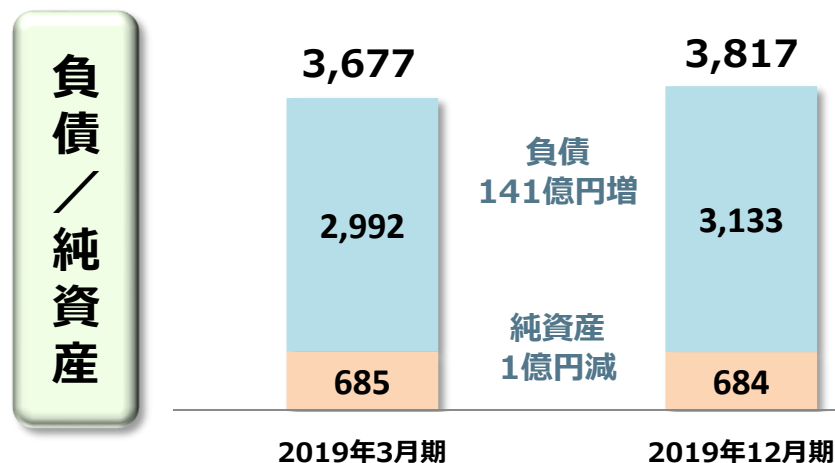
項目	2019年 3月期	2019年 12月期	増減
流動資産	1,951	1,906	▲ 45
(有形固定資産)	846	1,028	+182
(無形固定資産)	680	716	+36
(投資その他)	200	167	▲ 33
固定資産計	1,726	1,912	+186
資産合計	3,677	3,817	+140

流動資産：減

売上減に伴う売掛債権の減少等

固定資産：増

EQD社の新規連結による増加



項目	2019年 3月期	2019年 12月期	増減
流動負債	1,535	1,511	▲ 24
固定負債	1,457	1,623	+166
負債合計	2,992	3,133	+141
純資産計	685	684	▲ 1
負債・純資産合計	3,677	3,817	+140

固定負債：増

借入金の増加等（主にEQD社買収資金調達による）

純資産：減

為替換算調整勘定の減少等

8. 2020年3月期通期業績見通し

製造業を中心とする設備投資の減少を受けた世界のフォークリフト市場の縮小等を考慮し、2020年2月6日に通期連結業績予想の修正を実施。

なお、コロナウィルス感染拡大の直接的な影響については修正予想に織り込んでおりません。

業績修正の主な理由

- 直近の受注状況を勘案すると例年のように4Qでの業績の積み上げは困難と判断。
- 米州、中国を中心とした売上減の影響を販価改善や原価低減でカバーしきれず。

(単位：億円)

項目	2018年12月期 (実績)	2019年3月期 (実績)	2019年12月期 (実績)	2020年3月期 (2月6日付修正予想)	業績予想 (2019年8月公表)
販売台数	87千台	116千台	78千台	105千台	119千台
売上高	3,302	4,484	3,346	4,500	4,900
営業利益 (のれん等償却前) (営業利益率)	155.0 (4.7%)	219.8 (4.9%)	140.5 (4.2%)	190.0 (4.2%)	250.0 (5.1%)
のれん等償却	66.1	88.2	72.6	98.0	110.0
営業利益 (のれん等償却後) (営業利益率)	88.8 (2.7%)	131.6 (2.9%)	67.9 (2.0%)	92.0 (2.0%)	140.0 (2.9%)
経常利益 (経常利益率)	94.2 (2.9%)	137.1 (3.1%)	65.0 (1.9%)	87.0 (1.9%)	130.0 (2.7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	50.5 (1.5%)	70.8 (1.6%)	30.3 (0.9%)	42.0 (0.9%)	70.0 (1.4%)
1株あたり配当	—	13円	—	13円	13円

2020年3月期計画レート：USD=110円 EUR=125円 CNY=16円

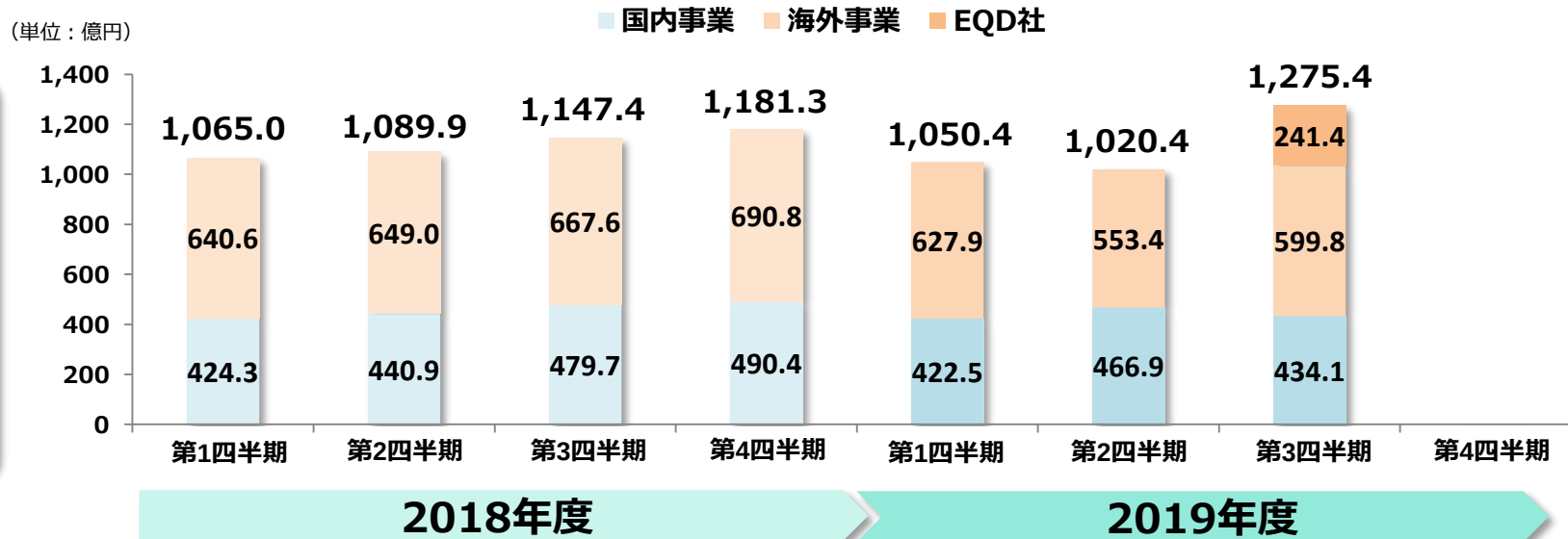
【参考資料】主な経営指標

	指標	算式	2019年3月期		2019年12月期		コメント
				(のれん償却前)		(のれん償却前)	
総合	総資本利益率（ROA）	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{総資本}}$	1.9%	(4.2%)	1.1%	(3.3%)	業績予想修正に伴う当期純利益の減額が響き指数が悪化
	自己資本利益率（ROE）	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}}$	11.2%	(20.4%)	6.3%	(14.6%)	
収益性	売上高営業利益率	$\frac{\text{営業利益}}{\text{売上高}}$	2.9%	(4.9%)	2.0%	(4.2%)	
	売上高当期利益率	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}}$	1.6%	(3.5%)	0.9%	(3.0%)	
効率性	総資本回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{総資本}}$	1.2回		1.2回		
	売上債権回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{売上債権}}$	5.8回		6.0回		
	棚卸資産回転率	$\frac{\text{売上原価}}{\text{棚卸資産}}$	5.6回		5.4回		
安全性	自己資本比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$	18.0%		17.2%		EQD社買収に伴う借入金増が響き悪化
	D/Eレシオ	$\frac{\text{有利子負債}}{\text{株主資本}}$	2.5倍		2.8倍		
株主関連	1株あたり利益	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{発行済株式数}}$	66.48円		38円		
	株価収益率（PER）	$\frac{\text{株価}}{\text{1株あたり利益}}$	18.1倍		36.6倍		株価： 2019年3月期末：1,205円 2019年12月期末：1,390円
	株価純資産倍率（PBR）	$\frac{\text{株価}}{\text{1株あたり純資産}}$	1.9倍		2.2倍		

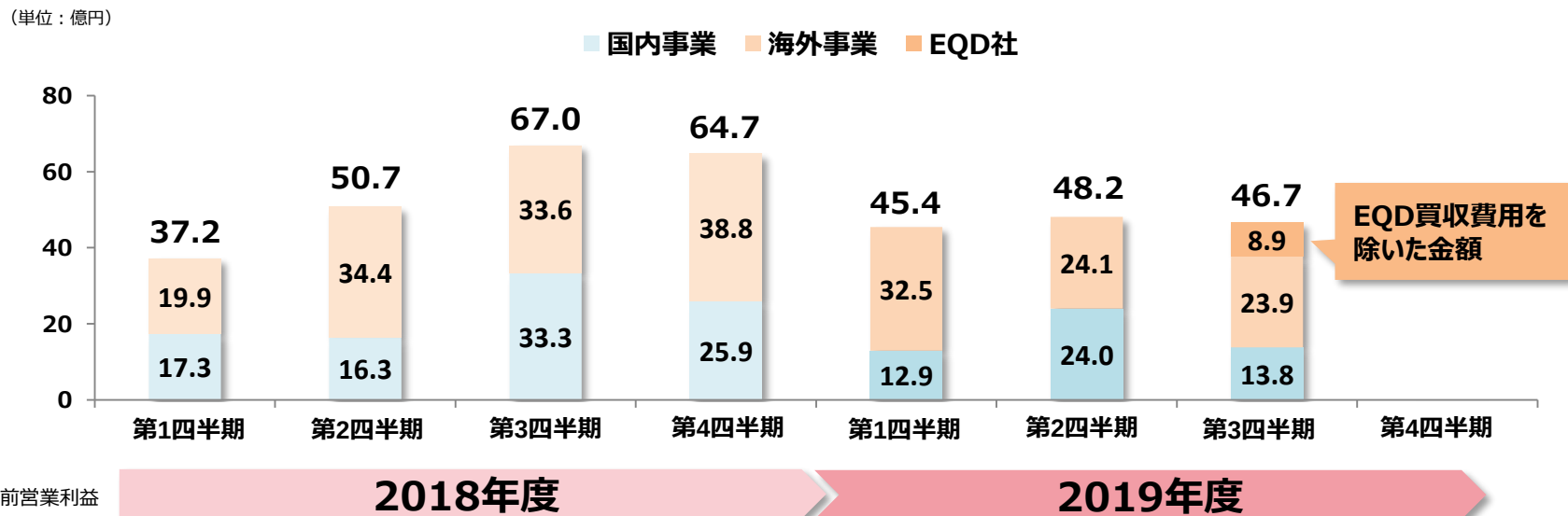
※「総合」「収益性」の指標については2020年3月期の業績予想（2月6日付修正予想）の数字をベースに試算

【参考資料】四半期推移

売上高



営業利益
(※)

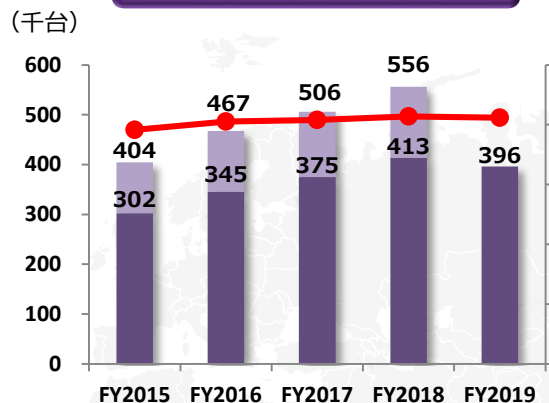


(※) のれん等償却前営業利益

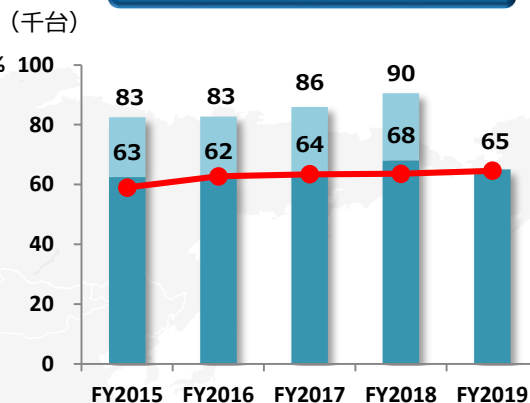
【参考資料】フォークリフト市場動向【出荷】（4月～12月） Logisnext

2019年度3Q迄のフォークリフト市場は世界的な製造業の停滞による設備投資抑制から、出荷台数は前年比▲2.4%減の1,109千台に留まった。

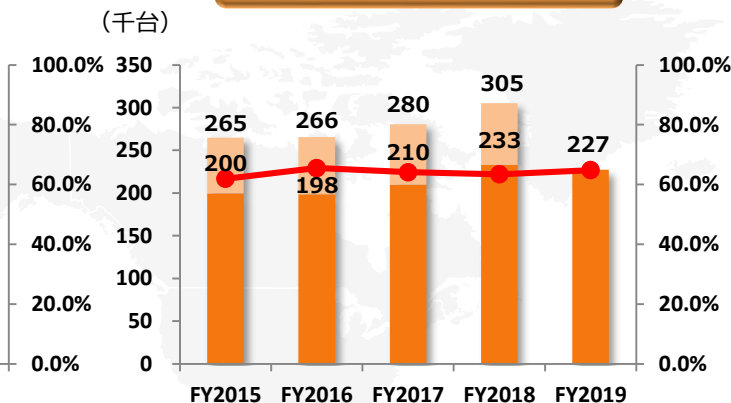
欧州（中東・アフリカ含む）



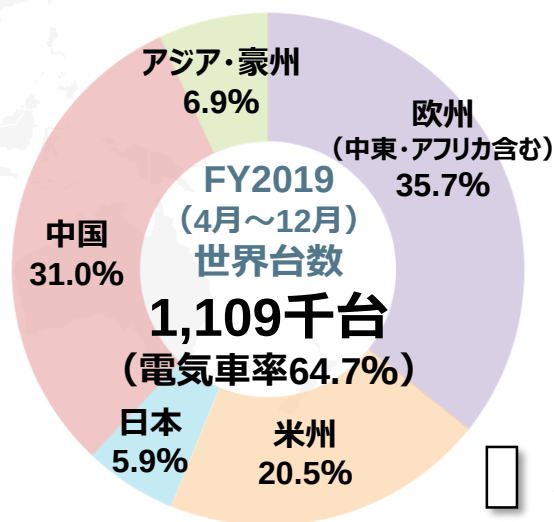
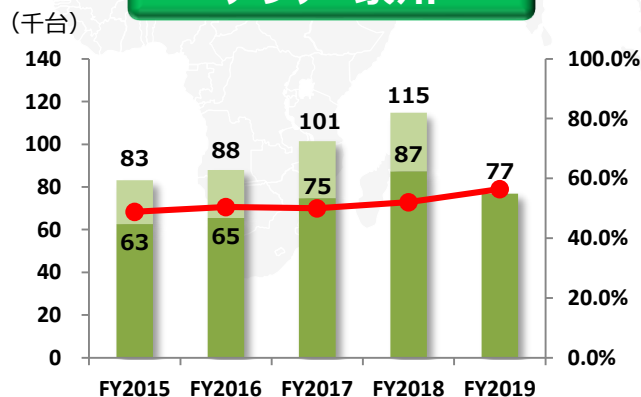
日本



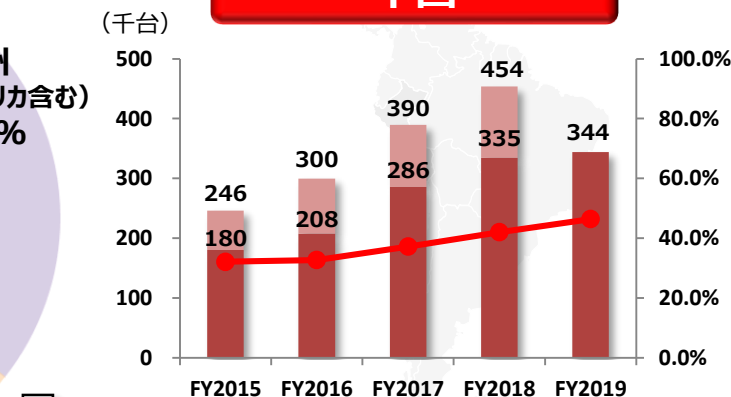
米州



アジア・豪州



中国



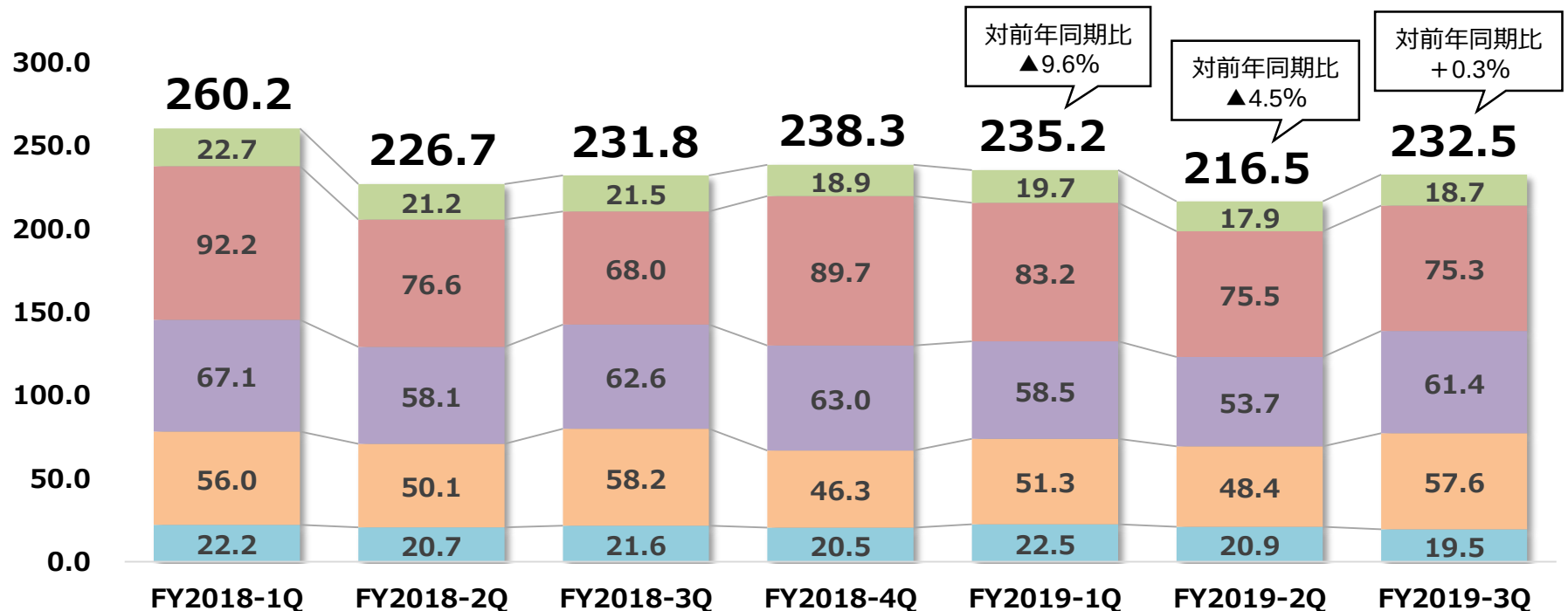
□ 市場台数
● 電気車率

フォークリフト市場動向分析

- 日本：消費税増税以降、堅調だった市場が変調、前年比マイナスに転落。
- 米州：米中貿易摩擦の影響で市況が悪化続くが、直近は下げ止まり感。
- 欧州：エンジン車を中心に受注の悪化傾向継続。電気車は比較的良好。
- 中国：ハイエンド市場は引き続き悪い。コロナウィルス感染拡大で更に厳しく。
- アジア・豪州：中国の景況感の落ち込みを受けた市場の悪化が継続。

受注台数（ClassⅢ（※）除く）

（単位：千台）



※ClassⅢ：自走式電動小型リフト

注意事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予測に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。
- 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予測と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保障するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

本資料に関するお問い合わせ

三菱ロジスネクスト株式会社 財務企画部企画課 荻屋・柏木

〒617-8585 京都府長岡京市東神足2-1-1

TEL : 075-956-8610 FAX : 075-951-4038

URL : www.logisnext.com

Logisnext

三菱ロジスネクスト株式会社